

ルームシェア方式とその課金方法の あり方について

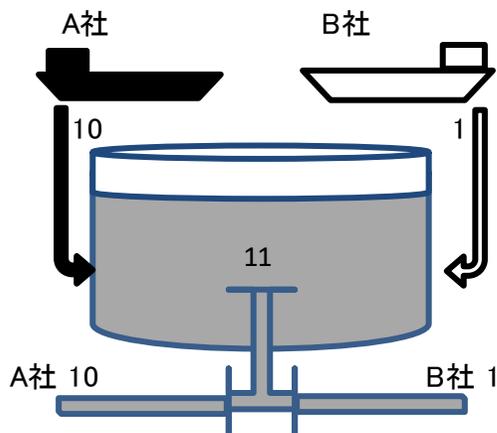
2018年9月

石油連盟



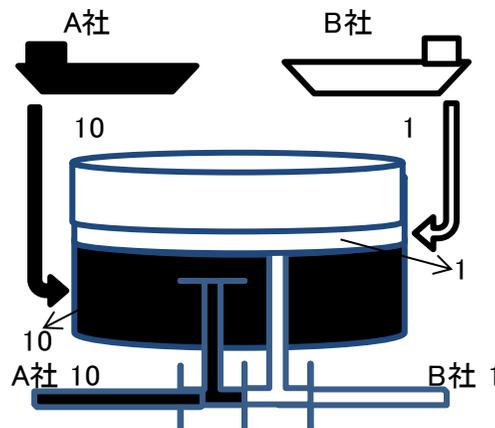
- 石油業界として提案したルームシェア方式においては、一旦タンクに納入されたLNG在庫は、実質的に同タンクを利用している全員で共有(共用)されるため、そもそもタンク内で自社在庫が他社在庫に比べて長期に亘ってタンクスペースを占有するという概念はありません。
- したがって、ルームシェア方式により利用する基地の費用分担は、自社在庫の貯蔵期間や貯蔵パターン等が反映される平均貯蔵量ではなく、利用量(払出量)で均等に按分することが適当です。
- ルームシェア方式の課金標準を平均貯蔵量とした場合、新規参入者の立場としては、参入当初時における貯蔵コストの負担が著しく大きくなる可能性があり、その場合は、LNG基地の第三者利用を活用してのガス小売市場への参入は極めて困難となります。

ルームシェア方式について



- ・A社とB社の在庫は、タンク内で共有(共用)されて運用(実態的には相互にLNGを貸借)
- ・A社はB社が搬入した在庫分をA社分として払出し可能(次の入船時にB社に返還)
- ・B社分の搬入在庫は、タンクに長期に亘り滞留することはなく、タンクの効率的運用が可能
- ・実在庫と帳簿在庫の管理が必要

参考:ルームレント方式について



- ・A社とB社の在庫は、個別に運用(A社とB社で貸借はなし)
- ・実在庫と帳簿在庫が一致



3. LNG基地の第三者利用の拡大に向けて

第11回 ガスシステム改革小委員会(2014年7月17日)
石油連盟提出資料(※一部修正)

①料金算定ルールの特明確化

- 事業の予見可能性を高めるため、料金算定ルールの明確化と情報開示が重要と考えております。
- LNG基地の利用方法は、タンク能力の一部を賃借する方式(ルーム貸)や、タンク在庫を基地保有者と新規利用者で共有することにより、タンクの有効活用が可能な「ルームシェア方式*」が考えられます。まずは、料金算定ルールを明確化し、「ルームシェア方式*」による利用が可能な制度改革をお願いします。
- 「ルームシェア方式*」は、基地保有者は新規基地利用者が搬入したLNGを区別することなく使用できるため、タンク回転率の向上と、既利用分も含めたコスト削減を通じて、消費者メリットをもたらすことができます。

| 方式 | 利用方法 | 特徴 |
|------------------------------|--------------------|---|
| LNGタンク能力の一部を貸す方式 (ルーム貸方式) | タンク能力の一部を賃借して利用 | タンク能力の余力分を専有するため新規参入は限定的 タンク回転率の上昇率が小さい |
| ルームシェア方式* | タンク内在庫を実質的に共有化して運用 | 在庫量の制約を受けずに入出荷が可能となり新規参入機会がさらに拡大 さらにタンク回転率を高めることが可能(コスト削減効果がより大きい) |

※本専門会合で使用されている用語に修正。